

総合型選抜

学生募集要項

経済学部

経済学科
経営学科

共創社会学部

地域人間科学科
国際文化ツーリズム学科

流通情報学部

流通情報学科

法学部

法律学科
自治行政学科

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学科
スポーツコミュニケーション学科

RYUTSU KEIZAI UNIVERSITY

APPLICATION
GUIDELINES 2027

CONTENTS

募集要項について

2027年度流通経済大学「総合型選抜」は、この募集要項に従って実施します。
ご一読のうえ詳細をご確認いただき、ご不明な点がございましたらご遠慮なく
お問い合わせください。

目次

流通経済大学アドミッション・ポリシー	1
学びの環境(キャンパス)	7
入試概要(共通項目)	8
入試方式	
1 エントリー型	10
2 課題チャレンジ型 (小論文タイプ/生成AI利用タイプ/探究成果タイプ/資格タイプ/実技タイプ)	12
3 課外活動型	24
4 学部専願型 (学部指定タイプ/学部連携タイプ)	26
5 得意科目型	30
外国人留学生の方へ	32
出願方法	33
出願の手順	34
受験上の注意	36
合格発表	37
奨学生制度	37
入学手続	38
試験会場	40

個人情報の 取り扱いについて

志願者の個人情報と入試で用いた選考資料の管理は、流通経済大学入試センターが責任を持って行います。住所、氏名等の個人情報は、入学者選抜、合格発表および入学手続を行うために利用し、入学手続以降は、教務・学生支援関係等の学籍管理を行うために利用します。また、入試で用いた選考資料は、入学後の教育指導を行うために利用します。



<https://www.rku.ac.jp/with/>

本学生募集要項の記載内容に変更や追加連絡が生じた場合には、
本学入試情報サイト「with RYUKEI」で周知します。

一人ひとりの能力や適性を「見いだし」「育む」入試です。

流通経済大学は、産業界の広範な支援のもとに設立された、産学連携を出発点とする大学です。我が国経済の繁栄のみならず福祉の向上と文化の発展にも貢献できる、視野の広い指導的人材の育成を目的とし、「優秀な産業人は優れた教養人でなければならない」との信念にもとづき、開学以来、実学主義とリベラルアーツを重視した特色ある教育に取り組んできました。

こうした本学の教育理念は、5学部9学科5大学院研究科からなる総合大学に発展した現在でも一貫しており、今日の世界情勢の中で我が国が国際競争力を高めていくためにも、個性と創造力のあふれる人材の育成を目指す実学教育を旨とする本学の教育が果たすべき役割は極めて大きいといえます。

ゆえに、入学者の受け入れにおいても、将来、社会や産業界の期待と要請に応え得るであろう、必ずしも一様ではない能力や適性を見いだし、それを本学の教育環境で育むことを目的として、選抜を行っています。一般選抜や、大学入学共通テスト利用型選抜における学力検査による入学者選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜では、知・徳・体の人間的な総合力に優れた学生を選抜しています。また、グローバル時代に活躍が期待される留学生も、広く海外から受け入れています。

本学の入学試験では、志願者の能力や適性を可能な限り多方面から見いだし、何よりも公平かつ厳正な方法で選考にあたり、学生を受け入れることを旨としています。それによって、これからも夢と好奇心と志を持った学生に開かれた大学であり続けたいと思います。

本学が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。

知識と理解力

高等学校卒業相当の知識を有し、それらの基本的内容を理解している学生

関心と意欲

本学が開学以来掲げる実学主義やリベラルアーツを重視した特色ある教育等に関心を持つだけでなく、入学を希望する学部学科での学修活動に積極的に取り組む意欲のある学生

共感力と行動力

広く社会が抱える諸問題に共感し、問題解決のために多様な価値観を共有しながら柔軟に行動していく姿勢を持っている学生

思考と表現力

社会の動向を多面的に考察し、総合的な観点から自分の意見をまとめ、分かりやすく表現していくことを心がけている学生

経済学部

経済学部は、情報化やグローバル化に対応して、経済学及び経営学(会計学)の専門知識のみならず、広い国際的視野と問題解決能力を備えた「グローバルに活躍できる視野の広い実業人」を育成し、社会に送り出すことを教育目標としています。この目標を達成するため、基礎学力がある学生もさることながら、世界の経済社会の動向に関心を持ち、国内外の問題を解決して社会に貢献することに意欲的でチャレンジ精神に富む学生を求めています。経済学部が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。

知識と理解力

高等学校で学習する国語、英語、地理歴史、公民、数学などについて、高等学校卒業相当の知識を有し、それらの基本的内容を理解している学生

関心と意欲

経済活動や企業経営等に関する問題に関心を持ち、大学で学んだ知識や技能を自分の将来や社会に役立てたいという意欲がある学生

共感力と行動力

経済社会や企業組織が抱える諸問題に共感し、問題解決のために多様な価値観を共有しながら柔軟に対応しようとする姿勢を持っている学生

思考と表現力

社会のさまざまな問題を多面的かつ総合的に考察し、自分なりの判断を下すことができるとともに、自分の知識や意見を他者に分かりやすく表現することができる学生

経済学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。

▶ 経済学科

経済学科は、経済・社会情勢を的確に見極めるための基礎知識を持ち、実践の場において、これを応用できる人材の養成を目的にしており、その目的に共感する学生を受け入れています。なお、経済学科では、将来の自分の目標が定まり、それに向かって前進していく学生のみならず、自分の進路がまだ確定しておらず、経済学科での幅広い学びの中から将来を決めていきたいという「自己探索」の途上にある学生も積極的に受け入れたいと考えています。

▶ 経営学科

経営学科は、ネットビジネス時代における人々の欲求の変化に気づき、卒業後に企業人になれる協調性を持った学生の入学を歓迎します。また、次のような将来計画を持った学生の入学を期待しています。

- 1 ベンチャー経営者、自営業・家業、起業やコンサルタントを目指す人
- 2 中小企業や大企業の中堅幹部を目指す人
- 3 NPOなど非営利組織で経営に関する専門知識やマネジメント能力を活用したい人
- 4 経理担当職、金融機関の職種、税理士、会計士、会計大学院進学、経営大学院進学を目指す人
- 5 流通業、サービス業、製造業、IT業などの業界で活躍したい人
- 6 各種スポーツを継続し、スポーツ関連産業などで活躍したい人

共創社会学部

社会は多様な集団や組織、ネットワークの集合体として成り立っています。現代社会における情報化やグローバル化は個々人の価値観や組織のあり方に変化をもたらすとともに、社会全体の構造の複雑化をもたらしています。共創社会学部ではこのような社会のあり方を理解し、個々人がより心地よく暮らせる社会へと変革していけるような人材の育成を目指し、「社会学的な素養を十分に身に付けた高度の教養人の養成」を教育目標として掲げています。この目標を達成するため、広く、人間社会のあり方や人間社会の出来事に着目し、さまざまな社会集団や組織、国や地域の歴史や文化、人間やその関係のあり方、価値観の多様性などについて学びたい学生の入学を期待しています。ただし、基礎学力もさることながら、柔軟な思考力をもって他者と協力し社会に貢献しようとする姿勢を重視しています。

共創社会学部が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。

知識と理解力

高等学校で学習する学科目について、高等学校卒業相当の知識を有している学生

関心と意欲

人や社会に関わる問題や現象に関心を持ち、人および社会について幅広く学び、必要な技能を身に付ける意欲を持っている学生

共感力と行動力

人や社会が抱える諸問題に共感し、問題解決のために他者と協力して行動しようとする姿勢を持っている学生

思考と表現力

社会のさまざまな問題を多面的かつ総合的に考察し、自分なりの判断を下すことができるとともに、自分の知識や意見を他者に分かりやすく表現することができる学生

共創社会学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。

▶ 地域人間科学科

地域人間科学科では、社会学を基盤とし、地域や社会のさまざまな問題に適切に対応しうる実践的・実証的な思考能力と行動力とを身に付けたい学生、また社会学、心理学、社会福祉学、保育学のいずれかひとつ、または複数について、実習・実験に基づいた専門的知識・技能を習得したい学生を受け入れています。

▶ 国際文化ツーリズム学科

国際文化ツーリズム学科では、文化、ジェンダーなどの多様性を大切に、持続可能な地域社会の創出に目を向けられる学生を受け入れています。

将来の希望として、使える英語を身に付けて世界で活躍したい、自分の出身地域の地域活性化に貢献したい、観光・レジャー・イベント関連のビジネスについて学びたいという人を歓迎します。多文化共生や文化政策、またアニメなどの現代文化や地域文化など、広く文化について学んでみたい人も受け入れています。

流通情報学部

流通情報学部は、Society5.0や第4次産業革命など新たな時代の到来に向けて、流通科学および情報科学、さらにそれらの融合領域を含めた流通情報科学の視点から、新たな経済・社会システムのデザインに貢献できる人材を養成することを教育目標としています。

この目標を達成するため、ロジスティクスの考え方を核として、実社会についての幅広い関心を持ち、専門的知識を活かして新たな社会やビジネスのあり方を探究する意欲と、自ら主体的に行動を起こしていく力を有する学生を求めています。

流通情報学部が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。

知識と理解力

高等学校で学習する各科目について、高等学校卒業程度の知識を有し、それらの基本的な考え方を修得している学生

関心と意欲

流通・情報、さらにそれらの融合領域における課題に関心を持ち、大学で学んだ知識を活かして将来の経済・社会システムのデザインに貢献する意欲がある学生

共感力と行動力

社会やビジネスの場における様々な問題に共感し、多様なバックグラウンドや価値観などを持つ他者と協働して柔軟に問題解決を行うことができる学生

思考と表現力

流通・情報の分野における専門的知識を核として、社会やビジネスの場における様々な問題について多角的・多面的に考察し、文章やプレゼンテーションなど多様な手段によって自らの意見を他者に対して分かりやすく表現することのできる学生

流通情報学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。

▶ 流通情報学科

流通情報学科は、「実学主義に基づいた教育」を実践し、流通情報分野における専門的知識を有し、即戦力として企業が求める人材、ロジスティクスの考え方を核に、広い視野に立ち、経済・社会システムをデザインできる人材の育成を目指しており、こうした方針に共感する学生を受け入れています。

法学部

法学部は、「法律の知識に基づく論理的思考やバランス感覚を身に付け、幅広く奥行きのある教養と人間性をも備えた人材の養成」を教育目標としています。こうした教育目標を十分に達成するため、法学部では、次のような学生を求めています。

知識と理解力

法学部の専門科目を学ぶ上で高等学校で学習する基本教科につき十分な基礎学力を有する学生

関心と意欲

法律問題や地方自治に関わる問題に関心を持ち、自ら進んでそれらの問題解決に必要な知識や技能を学ぶ意欲を持っている学生

共感力と行動力

他者に共感し、問題解決のために他者と協力して行動しようとする姿勢を持っている学生

思考と表現力

物事を論理的に考え、自分の意見を他者に分かりやすく表現することができる学生

法学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。

▶ 法律学科

法律学科は、広く全ての法分野にわたって法学を教授することによって、さまざまな分野で活躍できる人材の育成を目指しています。そして、「実学主義」をうたう本学の教育方針の下、本学科の教育理念を理解して、リーガル・マインドを身に付けて法令遵守の現代的意義を学ぶ意欲を持つとともに、社会の第一線で活躍することを目指す人材を求めています。

▶ 自治行政学科

自治行政学科は、地方公務員・NPO職員等として公共の一翼を担うことのできる人材および地方自治に関わるさまざまな分野で活躍できる人材の育成を目指しています。そして、「実学主義」をうたう本学の教育方針の下、本学科の教育理念を理解して、政策形成能力を身に付ける意欲を持つとともに、地域貢献を積極的に行い、地域の人々とコミュニケーションをはかる能力を獲得して、公共の分野で活躍することを目指す人材を求めています。

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学部は、「人間力と生命の尊厳を柱に多様な経験と専門的知識をもって諸問題を積極的に解決できる人材の養成」を教育目標として掲げています。この目標を達成するため、スポーツを基点とする実践から導き出した知恵と専門的知識を活用して、より良い社会の創出に貢献したいという強い思いを持つ学生を求めています。スポーツ健康科学部が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。

知識と理解力

体育および保健に限らず高等学校で学習する教科において、高等学校卒業相当の知識や技能を有している学生

関心と意欲

スポーツと健康の領域に関心を寄せつつ、同領域での多様な経験と専門知識をもって諸問題を解決したいという意欲を持ち、そして自らの価値を高めたいという志を持つ学生

共感力と行動力

多様性を尊重しながら、何事にも積極的にチャレンジし続けることができる学生

思考と表現力

多様で複雑な事象を複数の視点から捉え、そうした視点から導き出した自らの考えを他者に分かりやすく伝えることを心がけている学生

スポーツ健康科学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。

▶ スポーツ健康科学科

スポーツ健康科学科では、「実学主義」という本学の教育方針に基づき、スポーツ・健康に関する実践を通じて、見る力、伝える力、決断する力、全力を出し切る力、省みる力を育みます。また、自他を認め、自ら考え、自ら行動できる能力を身に付け、あらゆる生命に対して尊崇の念を持ち、人間として優しさや思いやりの心、たくましい精神を持つことができる人材育成を目指しています。

この学部・学科の教育理念に賛同し、スポーツ・健康に興味・関心を持ち、スポーツを通じて人間性を磨きたいと考え、スポーツで社会貢献したいという意思があり、大学生活4年間で意欲的にチャレンジし続けられる学生を求めています。

▶ スポーツコミュニケーション学科

スポーツコミュニケーション学科では、スポーツの持つ多様な価値のうち、とりわけその社会性と国際性に着目し、スポーツをテーマとする学修やスポーツ実践の場を通じて、コミュニケーションに関する専門的な知識と技能、態度を修得することを目的としています。

このことから、本学科に入学する学生像としては、まず何よりもスポーツが好きであること、そしてスポーツから得られるコミュニケーション能力に対して高い関心を持ち、それを自身の成長と実社会において広く活用することに意欲的であることを期待します。したがって、入学者の選抜に際しては、学力考査はもとより、志望理由や、知・徳・体の人間的な総合力を測るための多様な選抜方式を整備しています。

特に、本学科の教育課程の編成は、今後さらに高度なコミュニケーション能力が必要とされられると思われる幅広い分野に対応しており、希望する進路が明確な学生を積極的に受け入れます。

スポーツコミュニケーション学科では、次のような学生の入学を期待しています。

- 1 スポーツコミュニケーション学科の教育理念に賛同している学生
- 2 スポーツから得られるコミュニケーション能力に対して高い関心を持っている学生
- 3 スポーツの価値を自身の成長と実社会において広く活用することに意欲的である学生

学びの環境

(キャンパス)

スタイリッシュな都市型の新松戸キャンパスと、自然豊かな郊外型の龍ヶ崎キャンパスの2拠点で学生が学んでいます。学部学科によっては通学するキャンパスが選べます。

新松戸・龍ヶ崎 2キャンパス選択制

- 経済学部
経済学科・経営学科
- 共創社会学部
地域人間科学科^{※1}
- 法学部
法律学科・自治行政学科

新松戸キャンパスのみ

- 共創社会学部
国際文化ツーリズム学科
- 流通情報学部
流通情報学科

龍ヶ崎キャンパスのみ

- スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
スポーツコミュニケーション学科

※1.保育士資格取得科目は、新松戸キャンパス所属の方のみ受講できます。

両キャンパスの概要については、本学公式webサイト

(<https://www.rku.ac.jp/campuslife/campus/>)でも紹介しています。

経済学部・共創社会学部 地域人間科学科・法学部のキャンパス選択手続方法については、合格発表時に合格通知書と共にweb出願システムの「マイページ(P34参照)」上に公開する「入学手続の手引」に記載します。



新松戸キャンパス

SHIN-MATSUDO
campus

JR常磐線・武蔵野線新松戸駅から徒歩近く、
首都圏からの交通アクセスにも恵まれた“都市型”キャンパスです。

- ① 高層13階建ての見晴らしの良い校舎を中心に、充実した情報環境を備え、図書館やラウンジなどのフリースペースに加え、2号館には体育館も併設しています。
- ② 通学は、公共交通機関のほか、自転車通学(1号館のみ駐輪場設置)ができます。専用駐車場がありませんので、自動車(オートバイを含む)通学はできません。
- ③ 新松戸近辺のアパート代(1K・月額)は35,000~70,000円位です。

龍ヶ崎キャンパス

RYUGASAKI
campus

JR常磐線龍ヶ崎市駅からシャトルバスあり。
緑豊かな自然環境に恵まれた“郊外型”キャンパスです。

- ① 教室棟や図書館、体育施設、宿泊施設などを備えた、広々とした総合型キャンパスです。クラブ・サークル活動の施設も完備しています。
- ② 通学は、公共交通機関のほか、専用駐車場が整備されているため、自動車(オートバイを含む)通学ができます。
- ③ 龍ヶ崎近辺のアパート代(1K・月額)は、25,000~35,000円位です。
- ④ 龍ヶ崎市との連携で、キャンパス周辺の飲食店やクリーニング店などで流经大生割引サービスを受けられます。

入試概要（共通項目）

1 募集学部・学科および募集人員

学部	経済		共創社会		流通情報	法		スポーツ健康科学	
学科	経済	経営	地域人間科学	国際文化・ツーリズム	流通情報	法律	自治行政	スポーツ健康科学	スポーツコミュニケーション
人員	80	55	35	30	35	25	35	70	35

※上記募集人員は、RKU高大接続型選抜（総合型選抜）の人員を含みます。

2 出願資格 | 流通経済大学を第一志望とし、以下のいずれかに該当する者

- 1 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2027年3月卒業見込みの者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2027年3月修了見込みの者
- 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、または2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者

○ 海外帰国生

日本の国籍を有し、海外の教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者で成績が優秀な者（各国の教育制度の事情を勘案して判断する）。ただし、海外に設置されている学校で当該国の学校教育制度に基づく教育を行っている学校でなければならない。

- ① 海外の学校に1.5年以上在籍し、その課程を修了見込みの者あるいは修了後（大学入学までが）1年未満の者
- ② 海外の学校に1.5年以上在籍し、日本の高等学校に編入後2年未満で、卒業見込みの者

注 上記出願資格 **3** に該当し、在留資格が「留学」の外国人留学生は、P32「外国人留学生の方へ」も確認してください。外国人留学生に該当しない日本在住の外国籍の方は、上記出願資格 **1 2 3** のいずれかに加え、大学入学に支障がない在留資格を有すること。

3 入試方式

流通経済大学の総合型選抜には5つの入試方式があります。

自身が該当する入試方式のページを確認し、出願の準備を進めてください。

1 エントリー型 専願 ▶P10	3 課外活動型 専願 ▶P24
2 課題チャレンジ型 専願 ● 小論文タイプ ● 資格タイプ（基礎・発展） ● 生成AI利用タイプ ● 実技タイプ ● 探究成果タイプ ※スポーツ健康科学部のみ ▶P12-23	4 学部専願型 専願 ● 学部指定タイプ ● 学部連携タイプ ▶P26
	5 得意科目型 ▶P30

4 試験日程

総合型選抜 入試方式	期	出願期間 (締切日消印有効)	試 験 日	合格発表	手続締切日		試験 会場	
					第1次	第2次		
1 エントリー型 ※留学生は、共創社会学部・ 流通情報学部・法学部のみ	1	9/1 (火) ?	9/25(金)	10/3(土)	11/1(日)	11/9(月)	1/7(木)	龍 ヶ 崎
	2		10/9(金)	10/17(土)				
	3		10/30(金)	11/7(土)	11/12(木)	11/19(木)	1/28(木)	
	4		11/13(金)	11/21(土)	11/26(木)	12/3(木)		
	5		12/4(金)	12/12(土)	12/17(木)	1/4(月)		
	6		1/22(金)	2/2(火)	2/6(土)	2/10(水)	3/4(木)	
2 課題チャレンジ型 ●小論文タイプ ●生成AI利用タイプ ●探究成果タイプ ●資格タイプ(基礎・発展) ●実技タイプ ※スポーツ健康科学部のみ	1		10/9(金)	10/17(土)	11/1(日)	11/9(月)	1/7(木)	
	2		10/30(金)	11/7(土)	11/12(木)	11/19(木)	1/28(木)	
	3		11/13(金)	11/21(土)	11/26(木)	12/3(木)		
	4		12/4(金)	12/12(土)	12/17(木)	1/4(月)		
	5		1/22(金)	2/2(火)	2/6(土)	2/10(水)	3/4(木)	
3 課外活動型	1		10/9(金)	10/17(土)	11/1(日)	11/9(月)	1/7(木)	
	2	12/4(金)	12/12(土)	12/17(木)	1/4(月)	1/28(木)		
	3	1/22(金)	2/2(火)	2/6(土)	2/10(水)	3/4(木)		
4 学部専願型 ●学部指定タイプ 対象学部 経済学部 共創社会学部・法学部 スポーツ健康科学部 ●学部連携タイプ 対象学部 経済学部×法学部	1	10/9(金)	10/17(土)	11/1(日)	11/9(月)	1/7(木)		
	2	11/13(金)	11/21(土)	11/26(木)	12/3(木)	1/28(木)		
	3	12/4(金)	12/12(土)	12/17(木)	1/4(月)			
	4	1/22(金)	2/2(火)	2/6(土)	2/10(水)	3/4(木)		
5 得意科目型 ※1・2期は情報も選択可	1	11/13(金)	11/21(土)	11/26(木)	12/3(木)	1/28(木)	新 松 戸	
	2	12/4(金)	12/12(土)	12/17(木)	1/4(月)			
	3	2/2(火)	2/13(土)	2/18(木)	2/25(木)	3/17(水)		

※海外に居住する外国人留学生の出願については、合格後の在留資格認定申請手続等の配慮から、11/7(土)までに実施する入試に限定して受け付けます。短期ビザでの出願も同様とします。

5 入学検定料

35,000円

web出願の手順についてはP34～P35を参照してください。

注 一度納入した入学検定料はいかなる事由があっても返還いたしませんので注意してください。

入試方式

1 エントリー型

専願

1 エントリー型

2 課題チャレンジ型

3 課外活動型

4 学部専願型

5 得意科目型

1 入試方式の概要

エントリー型は、大学での学びに強い関心があることや、校内活動・社会文化活動などを積極的にアピールできることを重視する入試方式です。

エントリー型では、本試験の出願までに、下記2つのSTEPを経た者を対象に選抜を行います。

■ エントリー型の2つのSTEPの取組内容

STEP	取組内容
STEP1 エントリー面談	面談前に提出するアンケート(100字程度)の内容をもとに本学教員との面談を実施します。 この面談を通じて、自分がえがく未来にふさわしい学科を見つけます。
STEP2 エントリーレポート	オンラインで提出するエントリーレポート(500字程度)に対して本学教員がフィードバックコメントを示します。このコメントをふまえた修正を重ねることで、自分が目指す未来をより具体的なものとし、学科の学びの内容と結びつけます。 エントリーレポートの課題： 「あなたが目指す自分の未来について述べなさい。その際、エントリー学科の学びの内容との結びつきについて必ず述べること。」

詳細については、本学入試情報サイト内、〈総合型選抜エントリー型〉を参照してください。

▶ エントリー型専用ページ

<https://www.rku.ac.jp/with/admissions/ao/entry/>



○ 各種団体推薦

本学が指定した団体からの推薦状を提出できる方は、エントリー面談をお考えの時点で、本学入試センター（☎0120-297-141）まで問い合わせてください。

○ 外国人留学生

募集する学部・学科は次の通りです。

- 共創社会学部(地域人間科学科・国際文化ツーリズム学科) ■ 流通情報学部(流通情報学科)
- 法学部(法律学科・自治行政学科)

注 P32「外国人留学生の方へ」と外国人留学生選抜の学生募集要項もあわせて参照してください。

2

出願要件 | 以下の2つの要件を満たす者(出願資格はP8参照)

- 1 本学および志望学部・学科のアドミッション・ポリシーを理解している者
- 2 「エントリー面談」と「エントリーレポート」を経た者

注 外国人留学生の場合は、上記の募集要件に加え、日本語学校に通っている者、または卒業した者

3 選考方法

1 書類審査※1 2 口頭プレゼンテーション(4分程度)※2 3 面接(15分程度)

※1. 審査書類は調査書と志望理由書。

志望理由書:「本学を志望した理由を述べなさい。その際、本学科を志望した理由について必ず述べること。」(600字程度・事前提出)

※2. 口頭プレゼンテーションは、STEP2のエントリーレポートの内容について、口頭でプレゼンしてもらいます(資料の持ち込み不可)。

📌 エントリー型の評価ポイント

アドミッションポリシーと学力の3要素に基づいて、選考方法①②③をそれぞれ5段階で評価し、総合的に合否を判定します。

選考方法	評価のポイント	学力の3要素		
		知識技能	思考力・判断力 表現力	主体性 多様性
①書類審査(志望理由書について)	「志望理由書」の具体性、説得力、論理展開、日本語表記の正確性*など。	○	◎	◎
②口頭プレゼンテーション(4分程度)	「エントリーレポート」の内容を自分の言葉で話せるか、また、内容の具体性、説得力など。	◎	◎	○
③面接(15分程度)	「志望理由書」の内容を自分の言葉で話せるか、②の「エントリーレポート」の内容について、自己評価も含めスムーズに意見交換できるか、「調査書」に基づく問いかけに対して、適切に受け答えできるか、面接全体を通して、適切な態度でコミュニケーションできるか、など。	○	◎	◎

※ 文字数は十分(指定字数の±1割程度)か、段落区分は適切か、段落の最初に1マスを空けているか、文末表現は統一(「です・ます」/「だ・である」)されているか、誤字脱字がないか、など。

4 出願書類

出願書類	エントリー型	備考
志願票	●	web出願完了後、web出願システムのマイページからA4サイズで印刷すること。
調査書*	●	各高等学校もしくは中等教育学校で発行し、厳封してもらうこと。
志望理由書(600字程度)	●	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
各種団体推薦書	○	所定用紙。各種団体推薦で受験する者のみ提出すること。
外国人留学生の追加出願書類	○	詳細はP30「外国人留学生の出願書類について」を参照すること。

出願書類は入試情報サイトからダウンロードしてください(P33参照)。●印は全員提出してください。○印は該当者のみ提出してください。

※ 卒業後、一定期間が経過し、調査書を発行できない場合は必ず入試センターまでお問い合わせください。

※ 海外帰国生で、3年間または最終学年が海外の学校だった者についてはその学校の修了(修了見込)証明書を提出してください。

※ 高卒程度認定で受験する者については、高等学校卒業程度認定試験の合格成績証明書を提出してください。注 出願書類は返却いたしません。

5 集合時刻および試験時間

	第一グループ	第二グループ
集合時刻	9:40 ※ 当日の学内掲示に従って指定の教室に入室してください。	13:00 ※ 当日の学内掲示に従って指定の教室に入室してください。
試験時間	10:00～ 口頭プレゼンテーション、面接	13:20～ 口頭プレゼンテーション、面接

グループ分けについては、受験票により通知しますので、必ず確認してください。

入試方式

2 課題チャレンジ型

専願

1 エントリー型

2 課題チャレンジ型

3 課外活動型

4 学部専願型

5 得意科目型

入試方式の概要

課題チャレンジ型は、社会の動きに関心を持ち、調べ、考えることなど、さまざまな課題に自ら積極的にチャレンジできることを重視する入試方式です。課題チャレンジ型には以下の5つのタイプがあり、それぞれ評価内容が異なります。自らにあったタイプを選択のうえ、出願してください。

■ 課題チャレンジ型の各タイプにおける評価内容

タイプ	評価内容
小論文タイプ	社会の動きに関心を持ち、調べたり考えたりしたことを、文章を通じて発信できること。
生成AI利用タイプ	社会の動きに関心を持つとともに、様々な課題の解決にむけて、生成AIを利用できること。
探究成果タイプ	高校で積極的に行った探究学習の成果を、口頭プレゼンテーションを通じて発信できること。
資格タイプ (基礎・発展)	大学入学後の学びに向けて学習に取り組み、取得した資格を通じてその学習の成果を示すこと。 (基礎) 本学が指定する「指定資格(基礎)」を取得していること。 (発展) 本学が指定する「指定資格(発展)」を取得していること。
実技タイプ	大学入学後の学びに向けて学習に取り組み、特に体育実技についてその学習の成果を示すこと。

小論文タイプ

1 出願要件 | 以下の2つの要件を満たす者(出願資格はP8参照)

- 1 本学および志望学部・学科のアドミッション・ポリシーを理解している者
- 2 高校時代にさまざまな社会の動きに関心をもつとともに、その発信方法(特に文章技法)についても積極的に学んでいる者

2 選考方法

- 1 書類審査※1
- 2 小論文(800字程度)※2
- 3 面接(20分程度)

※1. 審査書類は調査書と志望理由書。

志望理由書:「本学を志望した理由を述べなさい。その際、本学科を志望した理由について必ず述べること。」(600字程度・事前提出)

※2. 次に示す5つの指定課題から1つ選択し、作成すること(800字程度・事前提出)。

[小論文タイプ指定課題]

- ① 現在、さまざまな職業や仕事で「働き方改革」の必要性が指摘されています。何か1つの職業や仕事に焦点を当てて、現在の働き方の課題とその具体的な改善策を述べてください。
- ② 2022年4月から成人年齢が18歳に引き下げられました。これに関して、あなたの意見を述べてください。
- ③ 小中学生がスマートフォンを使用する機会が増えており、その弊害が指摘されています。スマートフォンの弊害について調べ、その対応策について、あなたの考えを述べてください。

- ④ 現在、政治・経済・人口などが東京に一極集中しています。これによって生じる具体的な問題と、その解決方法について、あなたの意見を述べてください。
- ⑤ 近年、日本で暮らす外国人の数が増えています。この現象について、どのような立場の人が利益を受け、どのような立場の人が負担を負うのか整理した上で、あなたの考えを述べてください。

📌 課題チャレンジ型【小論文タイプ】の評価ポイント

アドミッションポリシーと学力の3要素に基づいて、選考方法①②③をそれぞれ5段階で評価し、総合的に可否を判定します。

選考方法	評価のポイント	学力の3要素		
		知識技能	思考力・判断力 表現力	主体性 多様性
①書類審査(志望理由書について)	「志望理由書」の具体性、説得力、論理展開、日本語表記の正確性*など。	○	◎	◎
②小論文	選択したテーマについて、内容を調べているか、調べた内容に基づいて論旨を展開しているか、単なる感想に終始していないかなど。また、内容の具体性、説得力、論旨の展開、および日本語表記の正確性*1など。	◎	◎	○
③面接(20分程度)	①の「志望理由書」の内容を自分の言葉で話せるか、②の小論文の内容について、自己評価も含めスムーズに意見交換できるか、「調査書」に基づく問いかけに対して、適切に受け答えできるか、面接全体を通して、適切な態度でコミュニケーションできるか、など。	○	◎	◎

* 文字数は十分(指定字数の±1割程度)か、段落区分は適切か、段落の最初に1マスを空けているか、文末表現は統一(「です・ます」/「だ・である」)されているか、誤字脱字がないか、など。

3 出願書類

出願書類	備考
志願票	web出願完了後、web出願システムのマイページからA4サイズで印刷すること。
調査書*	各高等学校もしくは中等教育学校で発行し、厳封してもらうこと。
志望理由書(600字程度)	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
小論文(800字程度)	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
外国人留学生の追加出願書類	詳細はP32「外国人留学生の出願書類について」を参照すること。

出願書類は入試情報サイトからダウンロードしてください(P33参照)。

* 卒業後、一定期間が経過し、調査書を発行できない場合は必ず入試センターまでお問い合わせください。

* 海外帰国生で、3年間または最終学年が海外の学校だった者についてはその学校の修了(修了見込)証明書を提出してください。

* 高卒程度認定で受験する者については、高等学校卒業程度認定試験の合格成績証明書を提出してください。

注 出願書類は返却いたしません。

4 集合時刻および試験時間

集合時刻

9:40

* 当日の学内掲示に従って指定の教室に入室してください。

試験時間

10:00～面接

入試方式

2 課題チャレンジ型

専 願

1 エントリー型

2 課題チャレンジ型

3 課外活動型

4 学部専願型

5 得意科目型

生成AI利用タイプ

1 出願要件 | 以下の2つの要件を満たす者（出願資格はP8参照）

- 1 本学および志望学部・学科のアドミSSION・ポリシーを理解している者
- 2 社会の動きに関心を持ち、諸課題への理解を深め、その解決策を導くために生成AIを積極的に利用してきた者

2 選考方法

- 1 書類審査※1
- 2 口頭プレゼンテーション(6分程度)※2
- 3 面接(15分程度)

※1. 審査書類は調査書と志望理由書。

志望理由書:「本学を志望した理由を述べなさい。その際、本学科を志望した理由について必ず述べること。」(600字程度・事前提出)

※2. 口頭プレゼンテーションでは、課題解決提案書(事前提出)の内容に基づいて、自分で設定した課題とその設定理由、生成AIを利用して考えたその解決策、使用したプロンプト(指示内容)について、口頭でプレゼンしてもらいます。

課題解決提案書:

「問1. あなたが生成AIを利用して解決しようとする課題の内容を、あなた自身の経験を踏まえながら述べてください。課題の内容は、あなたの志望する学科の学びに関係するものとしてください。」(300字程度・事前提出)

「問2. 問1で述べた課題に対し、あなたが提案する解決策を述べてください。その際、生成AIをどのように利用したかについても触れてください。」(500字程度・事前提出)

📌 課題チャレンジ型【生成AI利用タイプ】の評価ポイント

アドミSSIONポリシーと学力の3要素に基づいて、選考方法①②③をそれぞれ5段階で評価し、総合的に合否を判定します。

選 考 方 法	評 価 の ポ イ ン ト	学 力 の 3 要 素		
		知識 技能	思考力・判断力 表現力	主体性 多様性
①書類審査 (志望理由書について)	「志望理由書」の具体性、説得力、論理展開、日本語表記の正確性*など。	○	◎	◎
②口頭プレゼンテーション (6分程度)	課題の設定理由について自らの経験も交えて十分な説明がなされているか、生成AIの使い方(種類や入力内容など)について理由も含めて十分な説明がなされているか、提案内容および成果物により、課題をどのように解決するかについての一貫した説明がなされているか、提案内容を効果的に伝えるための工夫がなされているか、など。	◎	◎	○
③面接(15分程度)	①の「志望理由書」の内容を自分の言葉で話せるか、②の口頭プレゼンテーションの内容について、自己評価も含めスムーズに意見交換できるか、「調査書」に基づく問いかけに対して、適切に受け答えできるか、面接全体を通して、適切な態度でコミュニケーションできるか、など。	○	◎	◎

※ 文字数は十分(指定字数の±1割程度)か、段落区分は適切か、段落の最初に1マスを空けているか、文末表現は統一(「です・ます」/「だ・である」)されているか、誤字脱字がないか、など。

3 出願書類

出 願 書 類	備 考
志願票	web出願完了後、web出願システムのマイページからA4サイズで印刷すること。
調査書*	各高等学校もしくは中等教育学校で発行し、厳封してもらうこと。
志望理由書(600字程度)	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
課題解決提案書(300字程度+500字程度)	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
外国人留学生の追加出願書類	詳細はP32「外国人留学生の出願書類について」を参照すること。

出願書類は入試情報サイトからダウンロードしてください(P33参照)。

※ 卒業後、一定期間が経過し、調査書を発行できない場合は必ず入試センターまでお問い合わせください。

※ 海外帰国生で、3年間または最終学年が海外の学校だった者についてはその学校の修了(修了見込)証明書を提出してください。

※ 高卒程度認定で受験する者については、高等学校卒業程度認定試験の合格成績証明書を提出してください。

注 出願書類は返却いたしません。

課題解決の成果物が
動画の場合

動画の事前提出が必要です。web出願システムで登録・支払い完了後、必ず本学入試センターに電話で連絡してください。支払いが確認できた後、「動画提出フォーム」についてご案内します。動画の提出期限は出願締切日ですので、充分に余裕をもって連絡してください。(☎0297-60-1156 受付時間/平日9:00~17:00)

4 口頭プレゼンテーションの注意事項および当日持参するもの

- 口頭プレゼンテーションの際、必要に応じてプレゼンテーション資料を使用したり、成果物(課題解決のために制作したスマホアプリやWebサイトなど)を実演したりすることも可能です。当日持ち込むものについては、課題解決提案書に記入してもらいます。
- PCを使用してプレゼンを行いたい場合は、本学のPCを使用することもできますので、使用ファイルを保存したUSBメモリを持参してください。念のため、PDF形式に変換したファイルも保存してください。
- アプリ等を実演したい場合は、ご自身のPCを持参してください。

*試験当日は、受験者用の通信環境(Wi-Fi)を大学側で用意しています。詳細は本学入試センターまでお問い合わせください。

*試験当日、アプリ等が動作しなかった場合、実演ができないことがあるのでご注意ください。

5 集合時刻および試験時間

集合時刻 **9:40** ※ 当日の学内掲示に従って指定の教室に入室してください。

試験時間 **10:00～ 口頭プレゼンテーション、面接**

入試方式

2 課題チャレンジ型

専願

1 エントリー型

2 課題チャレンジ型

3 課外活動型

4 学部専願型

5 得意科目型

探究成果タイプ

1 出願要件 | 以下の2つの要件を満たす者(出願資格はP8参照)

- 1 本学および志望学部・学科のアドミSSION・ポリシーを理解している者
- 2 高校時代の学習に意欲的に取り組むとともに、SDGsなどに関する探究学習を積極的に行った者

2 選考方法

- 1 書類審査※1
- 2 口頭プレゼンテーション(4分程度)※2
- 3 面接(15分程度)

※1. 審査書類は調査書と志望理由書。

志望理由書:「本学を志望した理由を述べなさい。その際、本学科を志望した理由について必ず述べること。」(600字程度・事前提出)

※2. 口頭プレゼンテーションでは、探究学習の内容や学んだことなど、また、グループ学習の場合は担当した部分などについて、探究成果説明書をもとに口頭でプレゼンしてもらいます(資料の持ち込み可)。

📌 課題チャレンジ型【探究成果タイプ】の評価ポイント

アドミSSIONポリシーと学力の3要素に基づいて、選考方法①②③をそれぞれ5段階で評価し、総合的に可否を判定します。

選考方法	評価のポイント	学力の3要素		
		知識技能	思考力・判断力 表現力	主体性 多様性
①書類審査 (志望理由書について)	「志望理由書」の具体性、説得力、論理展開、日本語表記の正確性*など。	○	◎	◎
②口頭プレゼンテーション (4分程度)	テーマ・課題の設定理由は十分に説明されているか、調査・収集した情報(実験した場合はその結果)を丁寧に整理し、結論を導いているか、結論を今後の生活に生かしていく実践的な視点があるか、また、探究成果説明書を含むプレゼン用の資料と口頭説明が適切に連動し、説得力のある説明ができているか、など。 ※グループ学習の場合は、担当した部分を述べること。	◎	◎	○
③面接(15分程度)	①の「志望理由書」の内容を自分の言葉で話せるか、②の口頭プレゼンテーションの内容について、スムーズに意見交換できるか(含むプレゼン自体の自己評価)、「調査書」に基づく問いかけに対して、適切に受け答えできるか、面接全体を通して、適切な態度でコミュニケーションできるか、など。	○	◎	◎

※ 文字数は十分(指定字数の±1割程度)か、段落区分は適切か、段落の最初に1マスを空けているか、文末表現は統一(「です・ます」/「だ・である」)されているか、誤字脱字がないか、など。

3 出願書類

出 願 書 類	備 考
志願票	web出願完了後、web出願システムのマイページからA4サイズで印刷すること。
調査書※	各高等学校もしくは中等教育学校で発行し、厳封してもらうこと。
志望理由書(600字程度)	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
探究成果説明書(書式自由) *A4サイズ10枚以内・裏面使用不可	表紙は所定用紙をダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。表紙を含め、左上をホチキスで留め、2部提出すること。1部はコピーでも可。当日使用する場合は自分用に1部コピーし、持参すること。
外国人留学生の追加出願書類	詳細はP32「外国人留学生の出願書類について」を参照すること。

出願書類は入試情報サイトからダウンロードしてください(P33参照)。

※ 卒業後、一定期間が経過し、調査書を発行できない場合は必ず入試センターまでお問い合わせください。

※ 海外帰国生で、3年間または最終学年が海外の学校だった者についてはその学校の修了(修了見込)証明書を提出してください。

※ 高卒程度認定で受験する者については、高等学校卒業程度認定試験の合格成績証明書を提出してください。

注 出願書類は返却いたしません。

探究学習の成果物が
動画の場合

動画の事前提出が必要です。web出願システムで登録・支払い完了後、必ず本学入試センターに電話で連絡してください。支払いが確認できた後、「動画提出フォーム」についてご案内します。動画の提出期限は出願締切日ですので、十分に余裕をもって連絡してください。(☎0297-60-1156 受付時間/平日9:00~17:00)

4 口頭プレゼンテーションの注意事項および当日持参するもの

- 探究成果説明書の他にポスター等、追加資料の持ち込みも可能です。
- PCを使用してプレゼンを行いたい場合は、本学のPCを使用させていただきますので、使用ファイルを保存したUSBメモリを持参してください。念のため、PDF形式に変換したファイルも保存してください。
- 動画を流しながらプレゼンを行いたい場合は、MP4形式の動画を保存したUSBメモリを持参してください。ただし、動画を流すだけのプレゼンは認めません。

*当日持ち込みしたUSBメモリに不具合が生じた場合は、PCを使用したプレゼンができないことがあるのでご注意ください。

5 集合時刻および試験時間

集合時刻 **9:40** ※ 当日の学内掲示に従って指定の教室に入室してください。

試験時間 **10:00～** 口頭プレゼンテーション、面接

入試方式 2 課題チャレンジ型

専願

1 エントリー型

2 課題チャレンジ型

3 課外活動型

4 学部専願型

5 得意科目型

資格タイプ (基礎・発展)

1 出願要件 | 資格タイプ(基礎):以下の 1 および 2 の要件を満たす者

資格タイプ(発展):以下の 1 および 3 の要件を満たす者

- 1 本学および志望学部・学科のアドミッション・ポリシーを理解している者
- 2 高校時代の学習に意欲的に取り組むとともに、本学が指定する「指定資格(基礎)」を事前に取得している者
- 3 高校時代の学習に意欲的に取り組むとともに、本学が指定する「指定資格(発展)」を事前に取得している者

※ 2 と 3 の資格について、資格や成績に有効期限のあるものは、本学試験日が有効期限内であることを確認すること。

2 指定資格一覧 ※未掲載の資格であっても、関連すると思われる資格を有する場合は、お気軽に相談してください。

2-1 資格タイプ(基礎)の指定資格

▶ 対象資格(全学共通): 11 資格

学部	分野	資格	実施団体	基準
全学部共通	語学	英語検定	日本英語検定協会	準2級
		TOEIC L&R	ETS	400点以上450点未満
		TOEIC Bridge	ETS	80点以上90点未満
		全商英語検定	公益財団法人全国商業高等学校協会	1級
	簿記	漢字検定	日本漢字能力検定協会	準2級
		日商簿記検定	商工会議所	3級
		全商簿記検定	公益財団法人全国商業高等学校協会	1級(「原価計算」「会計」の1つのみ合格)または2級
	情報	日商PC検定	商工会議所	3級(いずれか1つ)
		ICTプロフィシエンシー検定(P検)	株式会社ベネッセコーポレーション	スタンダード
		全商情報処理検定	公益財団法人全国商業高等学校協会	3級
		マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)	株式会社オデッセイコミュニケーションズ	上級レベル(エキスパート)

▶ 対象資格(学科別)

学部	学科	資格	実施団体	基準
経済学部	経済学科	数学検定	日本数学検定協会	2級または準2級
		リテールマーケティング(販売士)検定	商工会議所	3級
	経営学科	リテールマーケティング(販売士)検定	商工会議所	3級
共創社会学部	地域人間科学科	統計検定	日本統計学会	4級
		TOEFL	ETS	400点以上450点未満
		TOEFL iBT	ETS	33点以上45点未満
		ニュース時事能力検定	日本ニュース時事能力検定協会	準2級
		保育技術検定	全国高等学校家庭科教育振興会	3級
	国際文化 ツーリズム学科	TOEFL	ETS	400点以上450点未満
		TOEFL iBT	ETS	33点以上45点未満
		TEAP	日本英語検定協会	150点以上226点未満
		IELTS	British Council	4.0以上5.0未満
		世界遺産検定	世界遺産アカデミー	3級
流通情報学部	流通情報学科	リテールマーケティング(販売士)検定	商工会議所	3級
		数学検定	日本数学検定協会	2級または準2級
		情報検定(J検)(情報活用)	職業教育・キャリア教育財団	2級
法学部	法律学科・ 自治行政学科 共通	ビジネス実務法務検定	東京商工会議所	3級
		文章読解・作成能力検定	日本漢字能力検定協会	3級以上
		日本語検定	日本語検定委員会	4級
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科・ スポーツコミュニケーション学科 共通	TOEFL	ETS	400点以上450点未満
		TOEFL iBT	ETS	33点以上45点未満
		IELTS	British Council	4.0以上5.0未満
		TEAP	日本英語検定協会	150点以上226点未満
		スポーツ実績	各団体	ブロック大会(関東大会など)出場*

※主務やコーチといった選手以外の役割も含む

2-2 資格タイプ(発展)の指定資格

▶ 対象資格(全学共通): 10資格

学部	分野	資格	実施団体	基準
全学部共通	語学	英語検定	日本英語検定協会	2級以上
		TOEIC L&R	ETS	450点以上
		TOEIC Bridge	ETS	90点以上
		漢字検定	日本漢字能力検定協会	2級以上
	簿記	日商簿記検定	商工会議所	2級以上
		全商簿記検定	公益財団法人全国商業高等学校協会	1級(「原価計算」「会計」の両方の合格)
		統計検定	日本統計学会	3級以上
	情報	日商PC検定	商工会議所	2級以上(いずれか1つ)
		全商情報処理検定	公益財団法人全国商業高等学校協会	2級以上(「ビジネス情報部門」「プログラミング部門」のうちいずれか1つの合格)
		ITパスポート	情報処理推進機構	合格

▶ 対象資格(学科別)

学部	学科	資格	実施団体	基準
経済学部	経済学科	リテールマーケティング(販売士)検定	商工会議所	2級以上
		数学検定	日本数学検定協会	準1級以上
		ファイナンシャルプランニング技能検定	日本FP協会	3級以上
		宅地建物取引士	国土交通省	合格
	経営学科	リテールマーケティング(販売士)検定	商工会議所	2級以上
		ファイナンシャルプランニング技能検定	日本FP協会	3級以上
		宅地建物取引士	国土交通省	合格
共創社会学部	地域人間科学科	TOEFL	ETS	450点以上
		TOEFL iBT	ETS	45点以上
		ニュース時事能力検定	日本ニュース時事能力検定協会	2級以上
		Literas論理言語力検定	ベネッセコーポレーション	2級以上
		保育技術検定	全国高等学校家庭科教育振興会	2級以上
	国際文化 ツーリズム学科	TOEFL	ETS	450点以上
		TOEFL iBT	ETS	45点以上
		TEAP	日本英語検定協会	226点以上
		IELTS	British Council	5.0以上
		総合旅行業務取扱管理者	日本旅行業協会	合格
		国内旅行業務取扱管理者	全国旅行業協会	合格
		世界遺産検定	世界遺産アカデミー	2級
		観光英語検定	全国語学ビジネス観光教育協会	2級
		リテールマーケティング(販売士)検定	商工会議所	2級以上
		数学検定	日本数学検定協会	準1級以上
	流通情報学科	情報検定(J検)(情報活用)	職業教育・キャリア教育財団	1級
		情報検定(J検)(情報デザイン)	職業教育・キャリア教育財団	初級以上
法学部	法律学科・ 自治行政学科 共通	ファイナンシャルプランニング技能検定	日本FP協会	3級以上
		ビジネス実務法務検定	東京商工会議所	2級以上
		法学検定	日弁連法務研究財団・商事法務研究会	ベーシック(基礎)コース以上
		行政書士	行政書士試験研究センター	合格
		宅地建物取引士	国土交通省	合格
		公務員試験一次試験	各団体	合格
		日本語検定	日本語検定委員会	3級以上
		TOEFL	ETS	450点以上
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科・ スポーツコミュニケーション学科 共通	TOEFL iBT	ETS	45点以上
		IELTS	British Council	5.0以上
		TEAP	日本英語検定協会	226点以上
		スポーツ実績	各団体	ブロック大会(関東大会など) 入賞(8位以内)、ベスト8以上 または全国大会出場*

※主務やコーチといった選手以外の役割も含む

入試方式 2 課題チャレンジ型

専願

1 エントリー型

2 課題チャレンジ型

3 課外活動型

4 学部専願型

5 得意科目型

3 選考方法

3-1 資格タイプ(基礎)

- 1 書類審査※1
- 2 資格チャレンジシート(400字程度)※2
- 3 面接(20分程度)

3-2 資格タイプ(発展)

- 1 書類審査※1
- 2 面接(20分程度)

※1. 審査書類は調査書と志望理由書。

志望理由書:「本学を志望した理由を述べなさい。その際、本学科を志望した理由について必ず述べること。」(600字程度・事前提出)

※2. 資格チャレンジシート:「当該資格を取得した理由と、今後どのように生かしていくのかについて述べなさい。」(400字程度・事前提出)

📌 課題チャレンジ型【資格タイプ】の評価ポイント

アドミッションポリシーと学力の3要素に基づいて、選考方法①②③をそれぞれ5段階で評価し、総合的に合否を判定します。

選考方法	評価のポイント	学力の3要素		
		知識技能	思考力・判断力 表現力	主体性 多様性
①書類審査 (志望理由書について)	「志望理由書」の具体性、説得力、論理展開、日本語表記の正確性※など。	○	◎	◎
②資格チャレンジシート	「資格チャレンジシート」の具体性、説得力、論理展開、日本語表記の正確性※など。	◎	◎	○
資格発展(資格チャレンジシートが免除される高度な資格を保有している場合)は、最高段階の評価とする。				
③面接(20分程度)	①の「志望理由書」の内容を自分の言葉で話せるか、②の「資格チャレンジシート」の内容について(②が免除の場合は、資格取得の理由等について)、自己評価含めスムーズに意見交換できるか、「調査書」に基づく問いかけに対して、適切に受け答えできるか、面接全体を通して、適切な態度でコミュニケーションできるか、など。	○	◎	◎

※ 文字数は十分(指定字数の±1割程度)か、段落区分は適切か、段落の最初に1マスを空けているか、文末表現は統一(「です・ます」/「だ・である」)されているか、誤字脱字がないか、など。

4 出願書類

出 願 書 類	資格タイプ		備 考
	(基礎)	(発展)	
志願票	●	●	web出願完了後、web出願システムのマイページからA4サイズで印刷すること。
調査書*	●	●	各高等学校もしくは中等教育学校で発行し、厳封してもらうこと。
志望理由書(600字程度)	●	●	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
資格チャレンジシート(400字程度)	●	—	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
資格を証明する資料	●	●	資格の証明書、賞状等をA4サイズにコピーして提出すること。 ※資格や成績に有効期限のあるものは、本学試験日が有効期限内であることを確認すること。
課外活動実績証明書	○	○	所定用紙。部活動等の活動実績を利用して受験する者のみ、webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して部活動の顧問・監督の先生に記入してもらうこと。また、成績を裏付ける資料(新聞、雑誌、賞状等)をコピーして提出すること。
外国人留学生の追加出願書類	○	○	詳細はP32「外国人留学生の出願書類について」を参照すること。

出願書類は入試情報サイトからダウンロードしてください(P33参照)。●印は全員提出してください。○印は該当者のみ提出してください。

※ 卒業後、一定期間が経過し、調査書を発行できない場合は必ず入試センターまでお問い合わせください。

※ 海外帰国生で、3年間または最終学年が海外の学校だった者についてはその学校の修了(修了見込)証明書を提出してください。

※ 高卒程度認定で受験する者については、高等学校卒業程度認定試験の合格成績証明書を提出してください。

注 出願書類は返却いたしません。

5 集合時刻および試験時間

集合時刻

9:40

※ 当日の学内掲示に従って指定の教室に入室してください。

試験時間

10:00～ 面接

入試方式

2 課題チャレンジ型

専願

1 エントリー型

2 課題チャレンジ型

3 課外活動型

4 学部専願型

5 得意科目型

実技タイプ（スポーツ健康科学部のみ）

1 出願要件 | 以下の2つの要件を満たす者（出願資格はP8参照）

- 1 本学および志望学部・学科のアドミSSION・ポリシーを理解している者
- 2 高校時代の学習に意欲的に取り組むとともに、体育実技について積極的に学んでいる者

2 選考方法

- 1 書類審査※1
- 2 実技※2
- 3 面接（20分程度）

※1. 審査書類は調査書と志望理由書。

志望理由書:「本学を志望した理由を述べなさい。その際、本学科を志望した理由について必ず述べること。」(600字程度・事前提出)

※2. 実技では、「反復横跳び」、「握力」、および「20mシャトルラン」の得点を基に総合評価します。

📌 課題チャレンジ型【実技タイプ】の評価ポイント

アドミSSIONポリシーと学力の3要素に基づいて、選考方法①②③をそれぞれ5段階で評価し、総合的に可否を判定します。

選考方法	評価のポイント	学力の3要素		
		知識技能	思考力・判断力 表現力	主体性 多様性
①書類審査 (志望理由書について)	「志望理由書」の具体性、説得力、論理展開、日本語表記の正確性*など。	○	◎	◎
②実技試験	反復横跳び、握力、および20mシャトルランの数値を一定の基準（文部科学省『新体力テスト実施要項』の「テストの得点表および総合評価」等）に基づいて評価。	◎	◎	○
③面接（20分程度）	①の「志望理由書」の内容を自分の言葉で話せるか、②の実技試験の内容について、自己評価も含めスムーズに意見交換出来るか、「調査書」に基づく問いかけに対して、適切に受け答えできるか、面接全体を通して、適切な態度でコミュニケーションできるか、など。	○	◎	◎

* 文字数は十分（指定字数の±1割程度）か、段落区分は適切か、段落の最初に1マスを空けているか、文末表現は統一（「です・ます」／「だ・である」）されているか、誤字脱字がないか、など。

3 出願書類

出 願 書 類	備 考
志願票	web出願完了後、web出願サイトのマイページからA4サイズで印刷すること。
調査書※	各高等学校もしくは中等教育学校で発行し、厳封してもらうこと。
志望理由書(600字程度)	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
外国人留学生の追加出願書類	詳細はP32「外国人留学生の出願書類について」を参照すること。

出願書類は入試情報サイトからダウンロードしてください(P33参照)。

※ 卒業後、一定期間が経過し、調査書を発行できない場合は必ず入試センターまでお問い合わせください。

※ 海外帰国生で、3年間または最終学年が海外の学校だった者についてはその学校の修了(修了見込)証明書を提出してください。

※ 高卒程度認定で受験する者については、高等学校卒業程度認定試験の合格成績証明書を提出してください。

注 出願書類は返却いたしません。

4 実技の注意事項および当日持参するもの

- 最初に反復横跳び、次に握力、最後に20mシャトルランの順で計測を行います。評価は3種目の合計点で行い、途中棄権した場合は実技での評価は無効となります。
- 反復横跳びは20秒間でラインを跨いだ回数により得点をつけます。測定は1回です。
- 握力は左右交互に2回ずつ測定し、左右の平均点で得点をつけます。
- 全ての実技は室内で実施します。室内用シューズを用意してください。
- 更衣の際は指定の更衣室で着替えてください(シャワー利用可)。
- 準備運動を行う時間があります。実技開始までに各自で行ってください。
- 怪我をした際は、必要最低限の応急処置は行いますが、それ以外は各自で病院にて治療を受けてください。

5 集合時刻および試験時間

集合時刻

9:00

※ 当日の学内掲示に従って指定の教室に入室してください。

試験時間

10:00～実技、13:20～面接

入試方式

3 課外活動型

専願

1 エントリー型

2 課題チャレンジ型

3 課外活動型

4 学部専願型

5 得意科目型

1 入試方式の概要

課外活動型は、本学強化部への入部を希望し、かつ本学入学後も当該部活動を継続する意欲があることを重視する入試方式です。希望する部の入部条件や練習拠点となるキャンパスについて、必ず事前に本学強化部の指導者や入試センターに確認のうえ、出願してください。練習会・説明会などを実施する場合もありますので、事前に日程などを確認してください。

強化部	サッカー(男子・女子)、ラグビー(男子・女子)、柔道(男子)、剣道(男子・女子)、硬式野球(男子)、陸上競技(男子・女子) ※ 駅伝(男子)含む、アメリカンフットボール(男子)、新体操(女子)、バスケットボール(男子・女子)、ライフセービング(男子・女子)トライアスロン競技(男子・女子)、バレーボール(男子・女子)、チアリーディング、ダンス
-----	--

2 出願要件 | 以下の3つの要件を満たす者(出願資格はP8参照)

- 1 本学および志望学部・学科のアドミッション・ポリシーを理解している者
- 2 強化部が指定する練習会等を経た者
- 3 高校時代の学習に意欲的に取り組むとともに、スポーツ活動で優れた成績をあげ、かつ本学入学後も強化部で活動を継続する者

3 選考方法

- 1 書類審査※1
- 2 口頭プレゼンテーション(4分程度)※2
- 3 面接(15分程度)

※1. 審査書類は調査書と志望理由書。

志望理由書:「本学を志望した理由を述べなさい。その際、本学科を志望した理由について必ず述べること。」(600字程度・事前提出)

※2. これまでの活動経歴を説明するとともに、大学入学後の学業と部活動の両立について、口頭でプレゼンしてもらいます(資料の持ち込み不可)。

📌 課外活動型の評価ポイント

アドミッションポリシーと学力の3要素に基づいて、選考方法①②③をそれぞれ5段階で評価し、総合的に合否を判定します。

選考方法	評価のポイント	学力の3要素		
		知識技能	思考力・判断力 表現力	主体性 多様性
①書類審査(志望理由書について)	「志望理由書」の具体性、説得力、論理展開、日本語表記の正確性※など。	○	◎	◎
②口頭プレゼンテーション(4分程度)	高校の部活動の活動履歴を客観的に把握しているか、高校での学習成果と照らし合わせて、大学入学後の学業と部活動の両立可能性に、具体性や説得力があるか、など。	◎	◎	○
③面接(15分程度)	①の「志望理由書」の内容を自分の言葉で話せるか、②の口頭プレゼンの内容について、自己評価も含めスムーズに意見交換出来るか、「調査書」に基づく問いかけに対して、適切に受け答えできるか、面接全体を通して、適切な態度でコミュニケーションできるか、など。	○	◎	◎

※ 文字数は十分(指定字数の±1割程度)か、段落区分は適切か、段落の最初に1マスを空けているか、文末表現は統一(「です・ます」/「だ・である」)されているか、誤字脱字がないか、など。

4 出願書類

出 願 書 類	備 考
志願票	web出願完了後、web出願システムのマイページからA4サイズで印刷すること。
調査書*	各高等学校もしくは中等教育学校で発行し、厳封してもらうこと。
志望理由書(600字程度)	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
課外活動競技実績証明書	所定用紙。webサイトからダウンロードしA4サイズに印刷して顧問・監督の先生に記入してもらうこと。 PDF形式の競技実績証明書にPC入力してもらう場合も、同じく顧問・監督の先生にPC入力、A4サイズに印刷してもらうこと。
活動の記録や成績を証明する資料	新聞、雑誌、賞状等をA4サイズに印刷して提出すること。
外国人留学生の追加出願書類	詳細はP32「外国人留学生の出願書類について」を参照すること。

出願書類は入試情報サイトからダウンロードしてください(P33参照)。

※ 卒業後、一定期間が経過し、調査書を発行できない場合は必ず入試センターまでお問い合わせください。

※ 海外帰国生で、3年間または最終学年が海外の学校だった者についてはその学校の修了(修了見込)証明書を提出してください。

※ 高卒程度認定で受験する者については、高等学校卒業程度認定試験の合格成績証明書を提出してください。

注 出願書類は返却いたしません。

5 集合時刻および試験時間

集合時刻

9:40

※ 当日の学内掲示に従って指定の教室に入室してください。

試験時間

10:00 ~ 口頭プレゼンテーション、面接

入試方式

4 学部専願型

専願

1 エントリー型

2 課題チャレンジ型

3 課外活動型

4 学部専願型

5 得意科目型

入試方式の概要

「学部専願型」は、学部を指定して出願し、もっとも適切な学科で合格を伝える「学部指定タイプ」と、公務員や金融・不動産業界等への就職を希望する方を対象とし、経済学部と法学部に設置された4つの学科の中から、もっとも適切な学科で合格を伝える「学部連携タイプ」の2タイプがあります。

学部指定タイプ

以下の指定学部の中から1つの学部を選んで出願します。提出書類や面接の結果に基づいて、もっとも適切な学科で合格をお伝えします。将来の夢や大学で学びたいことが明確であり、学科よりも学部に着目して進学先を検討している方におすすめです。

1 指定学部

- 経済学部(経済学科・経営学科)
- 共創社会学部(地域人間科学科・国際文化ツーリズム学科)
- 法学部(法律学科・自治行政学科)
- スポーツ健康科学部(スポーツ健康科学科・スポーツコミュニケーション学科)

2 出願要件

- 1 本学および志望学部・学科のアドミッション・ポリシーを理解している者
- 2 指定学部内のどちらの学科であっても進学する意思のある者
- 3 高校時代にさまざまな社会の動きに関心をもつとともに、その発信方法(特に文章技法)についても積極的に学んでいる者

3 選考方法

- 1 書類審査※1
- 2 小論文(800字程度)※2
- 3 面接(25分程度)※3

※1. 審査書類は、調査書と学部専願用志望理由書(学部指定タイプ)。

学部専願用志望理由書(学部指定タイプ):「本学を志望した理由と、志望した学部で学びたい内容を述べなさい。」(400字程度・事前提出)

※2. 次に示す5つの指定課題から1つ選択し、作成すること(800字程度・事前提出)

※3. 志望理由書に基づいて面接を行います。「学部」で学びたい内容と、将来の希望する進路について、十分に説明してもらいます。

[指定課題]

- ① 現在、さまざまな職業や仕事で「働き方改革」の必要性が指摘されています。何か1つの職業や仕事に焦点を当てて、現在の働き方の課題とその具体的な改善策を述べてください。
- ② 2022年4月から成人年齢が18歳に引き下げられました。このような改正が行われた理由について調べた上で、この改正に関するあなたの意見を述べてください。
- ③ 小中学生がスマートフォンを使用する機会が増えており、その弊害が指摘されています。スマートフォンの弊害について調べ、その対応策について、あなたの考えを述べてください。
- ④ 現在、政治・経済・人口などが東京に一極集中しています。これによって生じる具体的な問題と、その解決方法について、あなたの意見を述べてください。
- ⑤ 近年、日本で暮らす外国人の数がincreasingしています。この現象について、どのような立場の人が利益を受け、どのような立場の人が負担を負うのか整理した上で、あなたの考えを述べてください。

📌 学部専願型【学部指定タイプ】の評価ポイント

アドミッションポリシーと学力の3要素に基づいて、選考方法①②③をそれぞれ5段階で評価し、総合的に合否を判定します。

選考方法	評価のポイント	学力の3要素		
		知識技能	思考力・判断力 表現力	主体性 多様性
①書類審査(志望理由書について)	学部専願用志望理由書(学部指定タイプ)の具体性、説得力、論理展開、日本語表記の正確性*など。	○	◎	◎
②小論文	選択したテーマについて、内容を調べているか、調べた内容に基づいて論旨を展開しているか、単なる感想に終始していないかなど。また、内容の具体性、説得力、論旨の展開、および日本語表記の正確性*など。	◎	◎	○
③面接(25分程度)	①の学部専願用志望理由書(学部指定タイプ)の内容を自分の言葉で話せるか、②の小論文の内容について、自己評価も含めスムーズに意見交換できるか、出願学部で学びたい内容を十分に説明できるか、調査書に基づく問いかけに対して、適切に受け答えできるか、面接全体を通して適切な態度でコミュニケーションできるか、などを評価ポイントとする。	○	◎	◎

※ 文字数は十分(指定字数の±1割程度)か、段落区分は適切か、段落の最初に1マスを空けているか、文末表現は統一(「です・ます」/「だ・である」)されているか、誤字脱字がないか、など。

注 合格学科は選考方法①②③によって総合的に判断します。「学部」で学びたい内容を、志望理由書と面接で十分に説明してください。

4 出願書類

出願書類	備考
志願票	web出願完了後、web出願システムのマイページからA4サイズで印刷すること。
調査書*	各高等学校もしくは中等教育学校で発行し、厳封してもらうこと。
学部専願用志望理由書(学部指定タイプ)(400字程度)	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
小論文(800字程度)	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
外国人留学生の追加出願書類	詳細はP32「外国人留学生の出願書類について」を参照すること。

出願書類は入試情報サイトからダウンロードしてください(P33参照)。

※ 卒業後、一定期間が経過し、調査書を発行できない場合は必ず入試センターまでお問い合わせください。

※ 海外帰国生で、3年間または最終学年が海外の学校だった者についてはその学校の修了(修了見込)証明書を提出してください。

※ 高卒程度認定で受験する者については、高等学校卒業程度認定試験の合格成績証明書を提出してください。

注 出願書類は返却いたしません。

5 集合時刻および試験時間

集合時刻

9:40 ※ 当日の学内掲示に従って指定の教室に入室してください。

試験時間

10:00～ 面接

入試方式

4 学部専願型

専願

1 エントリー型

2 課題チャレンジ型

3 課外活動型

4 学部専願型

5 得意科目型

学部連携タイプ

将来、公務員を志望する方や、金融や不動産などの分野で働きたい方で、経済学部と法学部のどちらにも関心のある方を対象とする入試方式です。経済学部と法学部に設置された以下の4学科の中から、もっとも適切な学科で合格をお伝えします。経済と法のどちらにも関心のある方におすすめです。

1 連携学部

経済学部(経済学科・経営学科) × 法学部(法律学科・自治行政学科)

2 出願要件

- 1 本学および志望学部・学科のアドミSSION・ポリシーを理解している者
- 2 連携学部内のいずれの学科であっても進学する意思のある者
- 3 高校時代にさまざまな社会の動きに関心をもつとともに、その発信方法(特に文章技法)についても積極的に学んでいる者

3 選考方法

- 1 書類審査※1
- 2 小論文(800字程度)※2
- 3 面接(25分程度)※3

※1. 審査書類は、調査書と学部専願用志望理由書(学部連携タイプ)。

学部専願用志望理由書(学部連携タイプ):「本学を志望した理由を述べなさい。そして、入学後に学びたい内容を、将来、志望する進路との関係で述べなさい。」(400字程度・事前提出)

※2. 次に示す5つの指定課題(共通)から1つ選択し、作成すること(800字程度・事前提出)

※3. 志望理由書に基づいて面接を行います。入学後に学びたいことと、将来の希望する進路について、十分に説明してもらいます。

[指定課題]

- ① 現在、さまざまな職業や仕事で「働き方改革」の必要性が指摘されています。何か1つの職業や仕事に焦点を当てて、現在の働き方の課題とその具体的な改善策を述べてください。
- ② 2022年4月から成人年齢が18歳に引き下げられました。このような改正が行われた理由について調べた上で、この改正に関するあなたの意見を述べてください。
- ③ 小中学生がスマートフォンを使用する機会が増えており、その弊害が指摘されています。スマートフォンの弊害について調べ、その対応策について、あなたの考えを述べてください。
- ④ 現在、政治・経済・人口などが東京に一極集中しています。これによって生じる具体的な問題と、その解決方法について、あなたの意見を述べてください。
- ⑤ 近年、日本で暮らす外国人の数が 증가しています。この現象について、どのような立場の人が利益を受け、どのような立場の人が負担を負うのか整理した上で、あなたの考えを述べてください。

📌 学部専願型【学部連携タイプ】の評価ポイント

アドミッションポリシーと学力の3要素に基づいて、選考方法①②③をそれぞれ5段階で評価し、総合的に合否を判定します。

選考方法	評価のポイント	学力の3要素		
		知識技能	思考力・判断力 表現力	主体性 多様性
①書類審査(志望理由書について)	学部専願用志望理由書(学部連携タイプ)の具体性、説得力、論理展開、日本語表記の正確性*など。	○	◎	◎
②小論文	選択したテーマについて、内容を調べているか、調べた内容に基づいて論旨を展開しているか、単なる感想に終始していないかなど。また、内容の具体性、説得力、論旨の展開、および日本語表記の正確性*など。	◎	◎	○
③面接(25分程度)	①の学部専願用志望理由書(学部連携タイプ)の内容を自分の言葉で話せるか、②の学部専願用小論文の内容について、自己評価も含めスムーズに意見交換出来るか、連携学部(経済・法)で学びたい内容と志望する進路を十分に説明できるか、調査書に基づく問いかけに対して、適切に受け答えできるか、面接全体を通して適切な態度でコミュニケーションできるか、などを評価ポイントとする。	○	◎	◎

※ 文字数は十分(指定字数の±1割程度)か、段落区分は適切か、段落の最初に1マスを空けているか、文末表現は統一(「です・ます」/「だ・である」)されているか、誤字脱字がないか、など。

注 合格学科は選考方法①②③によって総合的に判断します。入学後に学びたいことを、志望理由書と面接で十分に説明してください。

4 出願書類

出願書類	備考
志願票	web出願完了後、web出願システムのマイページからA4サイズで印刷すること。
調査書*	各高等学校もしくは中等教育学校で発行し、厳封してもらうこと。
学部専願用志望理由書(学部連携タイプ)(400字程度)	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
小論文(800字程度)	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
外国人留学生の追加出願書類	詳細はP32「外国人留学生の出願書類について」を参照すること。

出願書類は入試情報サイトからダウンロードしてください(P33参照)。

※ 卒業後、一定期間が経過し、調査書を発行できない場合は必ず入試センターまでお問い合わせください。

※ 海外帰国生で、3年間または最終学年が海外の学校だった者についてはその学校の修了(修了見込)証明書を提出してください。

※ 高卒程度認定で受験する者については、高等学校卒業程度認定試験の合格成績証明書を提出してください。

注 出願書類は返却いたしません。

5 集合時刻および試験時間

集合時刻

9:40

※ 当日の学内掲示に従って指定の教室に入室してください。

試験時間

10:00～面接

入試方式

5 得意科目型

1 エントリー型

1 出願要件 | 以下の2つの要件を満たす者 (出願資格はP8参照)

- 1 本学および志望学部・学科のアドミSSION・ポリシーを理解している者
- 2 高校時代の学習に意欲的に取り組むとともに、得意な科目について積極的に学んでいる者

2 課題チャレンジ型

2 選考方法

- 1 書類審査※1
- 2 学力検査(1科目)※2
- 3 面接(20分程度)

※1. 審査書類は調査書と志望理由書。

志望理由書:「本学を志望した理由を述べなさい。その際、本学科を志望した理由について必ず述べること。」(600字程度・事前提出)

※2. 学力検査は、国語、英語、数学、政治・経済、情報のうち1科目(50点満点・時間30分・マークシート方式)を試験開始後、問題を見てから選択して解答してもらいます。

3 課外活動型

試験科目(うち1科目選択)		時間	配点
国語	現代の国語・言語文化 ※古文・漢文を除く	30分	50点
英語	英語コミュニケーションI・II、論理・表現		
数学	数学I、数学A		
政治・経済	公共、政治・経済		
情報	情報I ※情報は1期と2期のみ選択可		

4 学部専門型

課題チャレンジ型【得意科目タイプ】の評価ポイント

アドミSSIONポリシーと学力の3要素に基づいて、選考方法①②③をそれぞれ5段階で評価し、総合的に合否を判定します。

選考方法	評価のポイント	学力の3要素		
		知識技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性
①書類審査 (志望理由書について)	「志望理由書」の具体性、説得力、論理展開、日本語表記の正確性*など。	○	◎	◎
②学力検査(1科目)	選択した科目の得点を一定の基準(科目の得点分布等)に基づいて評価。	◎	◎	○
③面接(20分程度)	①の「志望理由書」の内容を自分の言葉で話せるか、②の学力検査について、自己評価も含めスムーズに意見交換できるか、「調査書」に基づく問いかけに対して、適切に受け答えできるか、面接全体を通して、適切な態度でコミュニケーションできるか、など。	○	◎	◎

* 文字数は十分(指定字数の±1割程度)か、段落区分は適切か、段落の最初に1マスを開けているか、文末表現は統一(「です・ます」/「だ・である」)されているか、誤字脱字がないか、など。

5 得意科目型

3 出願書類

出 願 書 類	備 考
志願票	web出願完了後、web出願システムのマイページからA4サイズで印刷すること。
調査書※	各高等学校もしくは中等教育学校で発行し、厳封してもらうこと。
志望理由書(600字程度)	所定用紙。webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して記入すること。
外国人留学生の追加出願書類	詳細はP32「外国人留学生の出願書類について」を参照すること。

出願書類は入試情報サイトからダウンロードしてください(P33参照)。

※ 卒業後、一定期間が経過し、調査書を発行できない場合は必ず入試センターまでお問い合わせください。

※ 海外帰国生で、3年間または最終学年が海外の学校だった者についてはその学校の修了(修了見込)証明書を提出してください。

※ 高卒程度認定で受験する者については、高等学校卒業程度認定試験の合格成績証明書を提出してください。

注 出願書類は返却いたしません。

4 集合時刻および試験時間

集合時刻

10:10

※ 当日の学内掲示に従って指定の教室に入室してください。

試験時間

10:30～11:00 学力検査、11:40～面接

外国人留学生の方へ

外国人留学生の出願資格

外国人留学生は、P8「2.出願資格」に加えて、以下のすべての出願資格に該当する必要があります。

- 1** 外国の国籍を有する者で、日本国の永住許可（特別永住許可を含む）を得ていない者
 - 2** 2027年3月31日までに次のいずれかに該当する（見込み）者で、入学時に18歳に達する者
 - ①外国において、正規の学校教育における12年の課程を修了した者
 - ※12年の課程に日本の教育制度に基づく学校での在籍期間が含まれる場合は、その期間が中学校・高等学校あわせて通算3年未満の者（小学校での在籍期間は除く）。
 - ※正規の課程が12年未満の国の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程または研修施設の課程を修了した者、あるいは、12年の課程を修了した者に相当することを大使館等公的機関により証明できる者
 - ②外国において、正規の学校教育における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者
 - ※正規の課程が12年未満の国の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程または研修施設の課程を修了した者、あるいは、12年の課程を修了した者に相当することを大使館等公的機関により証明できる者
 - ③本学において、学校教育における12年課程を修了した者と同等以上の学力があると認めた者
 - 3** 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障がない在留資格を有する者
 - ※尚、2027年4月までに取得または更新できる見込みの場合は、出願前に必ずご連絡ください。
- 注** 外国人留学生に該当しない日本在住の外国籍の方は、P8「2.出願資格」を確認してください。

追加出願書類

出 願 書 類	備 考
履歴書	所定用紙。Webサイトからダウンロードし、A4サイズに印刷して自分で記入すること。 「緊急時連絡先」欄には、必ず日本在住の連絡の取れる方を記入すること（学生の友人は不可）。
日本語学校の出席・成績証明書	日本語学校で発行し、厳封してもらうこと。専門学校や短期大学に通っていた場合は、その学校の出席・成績証明書も提出すること。
高校の卒業証明書（原本）	原則として原本を提出すること。卒業証明書が1通しか発行できない場合は、すべてのページをA4サイズにコピーし、表紙に日本語学校の校印と「原本と相違なし」という記載があるものを提出すること。
高校の卒業証明書（日本語訳）	日本語訳は、日本語学校による和訳を原則とし、校印と「原本と相違なし」という記載をもらうこと（本人による和訳は不可）。卒業証明書が日本語、英語で発行できる場合は日本語訳を不要とする。
高校の学業成績証明書（原本）	原則として原本を提出すること。学業成績証明書が1通しか発行できない場合は、すべてのページをA4サイズにコピーし、表紙に日本語学校の校印と「原本と相違なし」という記載があるものを提出すること。
高校の学業成績証明書（日本語訳）	日本語訳は、日本語学校による和訳を原則とし、校印と「原本と相違なし」という記載をもらうこと（本人による和訳は不可）。学業成績証明書が日本語、英語で発行できる場合は日本語訳を不要とする。
パスポートのコピー （顔写真や氏名が掲載されたページ）	それぞれA4サイズにコピーすること。 ※短期ビザ等で在留カードを持たない外国籍の方は、パスポートに貼付された在留資格シールのコピーを提出すること。
在留カードのコピー（表面と裏面の両方）	
「日本留学試験（日本語）」の受験票のコピー	
「日本語能力試験」の成績通知書のコピー	左記試験を受験済みの場合は、いずれかのコピーを提出すること。 ※「日本留学試験（日本語）」の成績有効期間は、すでに終了した直近の試験を含む2年間です。
「J.TEST実用日本語検定（A-Cレベル検定）」の成績通知書のコピー	

注 大学入学までの正規的教育課程が12年未満の国の出身で、文部科学大臣指定の準備教育課程または研修課程を修了した者は、その修了証明書を提出してください。

注 大学入学までの正規的教育課程が12年未満の国の出身で、文部科学大臣指定の準備教育課程または研修課程を修了していない場合は、外国における12年の課程を修了した者に相当することを証明する、大使館等公的機関発行の書類（外国語の場合は日本語訳添付）を提出してください。
※出願締切日までにすべての出願書類が準備できない場合は、受験できません。※出願書類は返却いたしません。

出願方法

出願の流れ

- 1 本学入試情報サイトのweb出願システムから出願してください(出願の手順はP34~P35参照)

▶ 流通経済大学入試情報サイト
<https://www.rku.ac.jp/with/>



- 2 web出願システムで登録・支払い完了後に出力した「宛名ラベル」を市販の角2封筒に貼付し、出願に必要な書類を入れ、速やかに郵送(簡易書留・速達)してください。出願書類は出願締切日の消印有効です。
- 3 窓口持参による受付は、新松戸キャンパスと龍ヶ崎キャンパスで行います(土・日・祝日は除く)。
窓口受付時間は、平日9:00~17:00です(龍ヶ崎キャンパスへは、自家用車または最寄りの龍ヶ崎市駅よりシャトルバス(有料)を利用してください。シャトルバスの乗降場所はP40参照)。

出願の手順

STEP 1

事前準備 インターネット環境をご用意ください。

パソコン等の動作環境について ※表示もしくは印刷できない場合は、PDFはファイルに保存して、Adobe Acrobat Readerを利用してください。

II 利用環境

Windows	macOS	iOS最新版	Android最新版
Edge、Chrome Firefox	Safari、Chrome Firefox	Safari、Chrome Firefox	Chrome Firefox

II PDFの閲覧・印刷環境

Adobe Acrobat Reader

※Adobe Acrobat Reader以外のPDFビューアは推奨環境外です。

STEP 2

web出願登録

【① マイページの作成】

本学入試情報サイトにアクセスし、「web出願」のバナーをクリック。初めての方へのお知らせや利用規約をご確認の上、「登録を開始する」をクリックし、ユーザー登録画面で志願者氏名、メールアドレスを入力してください。「マイページ」が作成されます。

【② 出願内容の登録】 ※出願受付開始日より可能

「マイページ」より出願できます。画面の指示に従って「試験区分」⇒「出願内容」⇒「個人情報」⇒「支払い窓口」を選択・入力します。

ワンタイムパスキー

web出願登録の際、登録したメールアドレスにワンタイムパスキーが送られます。メールが受信できるようにメール容量が超過しないよう、注意してください。

STEP 3

入学検定料のお支払い(コンビニエンスストア・ペイジー・クレジットカード)

コンビニエンスストア、ペイジー、クレジットカードのいずれかでお支払いください。店頭へは「出願登録完了メール」に記載されている「支払う際に必要な番号」をお持ちください。お支払い後、**入金の確認ができてはじめて志願票等が印刷できるようになります**が、**入金の確認に2時間程度かかる場合もあります**ので、出願期限に間に合うように**余裕を持って**お支払いください。 ※一度納入された入学検定料は、いかなる事由があっても返還いたしませんので、注意してください。

コンビニエンスストア

現金支払い

コンビニ設置のATMは利用できません。コンビニでは現金のみの取扱いとなります。

ローソン・ミニストップ LAWSON (ローソン)	ファミリーマート FamilyMart	デイリーヤマザキ ヤマザキ	セイコーマート Seicomart	セブンイレブン 7-Eleven
[Loppi]	[マルチコピー機]	[レジへ]	[レジへ]	[レジへ]
[各種番号をお持ちの方]を選択	[代金支払い]を選択	レジで店員の方へ「オンライン決済」をする旨を伝える	レジで店員の方へ「インターネット支払い」をする旨を伝える	レジで店員の方へ「インターネット支払い」をする旨を伝える
[受付番号(6桁)]を入力し「次へ」ボタンを押す	[番号入力]を選択		お客様側のレジ画面にて[受付番号][確認番号]を入力	レジで店員の方へ「払込票番号」を伝える(発行した「払込票」を渡しても可。)
お申込み時に登録した電話番号を入力し「次へ」ボタンを押す	[第1番号(5桁)][第2番号(12桁)]を入力	レジ画面で決済番号を入力	支払内容の確認画面が表示	
内容確認後「了解」ボタンを押す		内容確認後レジでお支払い	[OK]ボタンを押してお支払い	お支払い
端末から出力された申込券を持ってレジでお支払い	端末から出力された申込券を持ってレジでお支払い			

※店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

金融機関ATM(ペイジー)

ゆうちょ銀行・pay-easy対応のATMを利用



現金支払い/キャッシュカード

※現金取扱いの場合は、入学検定料の総額が10万円未満の場合のみ支払いが可能です。10万円を超える場合は、キャッシュカードを利用してください。

[税金・各種料金(ペイジー)]を選択
収納機関番号を入力
お客様番号・確認番号を入力
支払い方法を選択(現金またはキャッシュカード)し、検定料を支払う

クレジットカード

※カードの名義人は受験生本人でなくとも構いません。



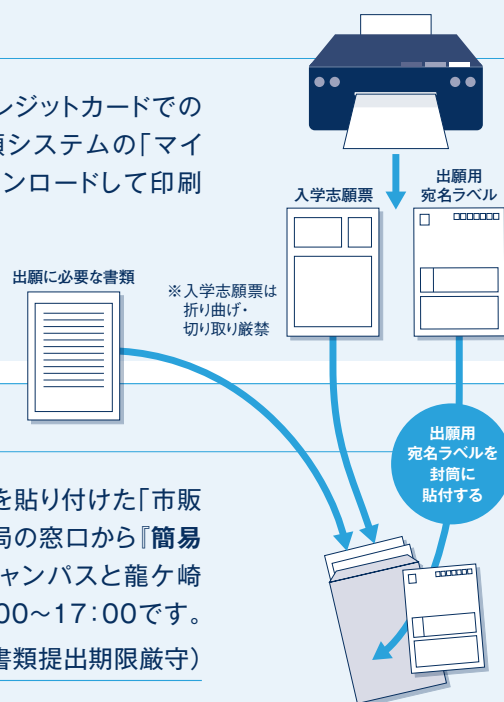
- 入学検定料の他に事務手数料が必要です。
- 入学検定料のお支払い後は内容の変更ができませんのでご注意ください。
- ローソン・ミニストップ、セイコーマートは、入金通知に時間がかかる場合があります。
- コンビニエンスストアでお支払いの場合、申込完了後に通知される支払期限内に入学検定料の支払いがなかった場合は登録情報は無効になります。
- 取扱コンビニ・支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は本学入試情報サイトにてご案内いたします。

STEP 4

「入学志願票」「宛名ラベル」の印刷

入学検定料の支払い後、「支払い確認完了」のメールが届いたら(クレジットカードでの支払いの場合は、「出願登録完了」のメールが届いたら)、web出願システムの「マイページ」へログインして、「入学志願票」「出願用宛名ラベル」をダウンロードして印刷(A4縦)してください。

※ログインIDは、登録完了時に送られるメールに記載されています。



STEP 5

出願書類の郵送

学生募集要項で出願に必要な書類を確認して、「出願用宛名ラベル」を貼り付けた「市販の角2封筒」に出願書類を入れ、出願期間内(締切日消印有効)に郵便局の窓口から『簡易書留・速達』で郵送してください。窓口持参による受付は、新松戸キャンパスと龍ヶ崎キャンパスで行います(土・日・祝日は除く)。窓口受付時間は、平日9:00~17:00です。出願書類は入学検定料の支払い後、速やかに郵送してください。(出願書類提出期限厳守)

⚠ 出願上の注意

1

入学検定料の支払い後は、**web出願システムで入力した内容の変更はできませんので**、間違いのないように入力してください。

2

出願期間を過ぎた場合は受付できません。

3

出願書類に虚偽が認められた場合は、合格後であっても合格または入学許可を取り消すことがあります。

4

病気・負傷や障がい等により受験上の配慮(合理的配慮を含む)を必要とする場合は、必ず**出願前に本学入試センターに相談してください。**

5

出願書類の作成にあたっては、[課題チャレンジ型 生成AI利用タイプ]の課題解決提案書を除き、生成型AIを利用することを禁じます。

6

STEP 2 web出願登録 及び
STEP 3 入学検定料のお支払いが完了していても
出願書類が本学に届かない場合は受験できませんので注意してください。

▶ 流通経済大学 入試センター

☎ 0120-297-141

〈受付時間〉9:00~17:00
※土日祝日を除く

1. 当日の持ち物(受験票など)について

- 1 受験票は印刷して必ず持参してください。出願書類がすべて本学に到着し、内容確認を経た後、受付処理(出願受理)が完了すると、試験日の3日前頃からweb出願システムの「マイページ」より「受験票」の印刷が可能になります。各自で印刷(A4サイズ縦)して試験当日に必ずお持ちください。
- 2 試験日近くになっても「受験票」が発行されない場合や、出願した内容と記載内容が異なる場合は、本学入試センターへ連絡してください。
- 3 試験当日に受験票を忘れた場合は、本学入試センターに申し出て仮受験票の交付を受けてください。
- 4 試験当日は身分証明書(生徒証、学生証など)を持参してください。受験票を持参し忘れた場合など、本人確認のために提示を求めることがあります。

2. 試験当日の注意事項・禁止事項

- 1 携帯電話などの電源は切っておいてください。
- 2 不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。また、全ての成績を無効とします。

3. 緊急時の対応

- 1 激甚災害により、試験当日、試験会場に来場することが難しい場合は、大学までご連絡ください。状況を証明する資料を提出していただくことで、オンライン面接を認めることがあります。

▶ 流通経済大学 入試センター

☎ 0120-297-141

〈受付時間〉9:00~17:00
※土日祝日を除く

1. 合否照会について

- 1 合否は、web出願システムの「マイページ」から確認できます。合格発表の公開開始は、合格発表日の午前11時を予定しています。
 - 2 合格者には「合格通知書」および「入学手続き書類」をweb出願システムの「マイページ」に掲載します。
※合格者はweb出願システムの「マイページ」で確認できる「合格通知書」をもって正式な合格発表とします。郵送しませんので必要に応じて各自ダウンロード・印刷してください。
 - 3 学部専願型では、合否照会画面で合格学科を発表します。
- 注** 合格発表直後はアクセスが多く、つながりにくい状態が予想されます。その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。電話による合否の問い合わせには、伝達の間違いを防止するため一切応じません。

2. 入学前学習について

総合型選抜の場合、受験時期によっては合格発表から入学までに相当の期間があります。そこで、入学後、順調に勉学を進められるように「**入学前学習**」を行ってもらいます。合格者には「マイページ」でお知らせしますので、内容を確認して取り組んでください。

奨学生制度

給付型奨学生選抜

合格後にチャンスがある！

原則4年間^{*}の年間授業料相当額（または半額）を給付

対 象	総合型選抜の既合格者
出願時期・試験日	給付型奨学生選抜（一般選抜または大学入学共通テスト利用型選抜）に準ずる

流経大では入学試験で優秀な成績を収めた方に対し、原則4年間^{*}にわたり年間授業料相当額または年間授業料半額相当額の奨学金を給付する「給付型奨学生選抜」を実施します。総合型選抜の既合格者は1回に限り検定料無料で受験可能です。受験を希望される場合は、必ず既に合格している学部学科で出願してください。※原則4年間です。毎年審査を行い、適格者のみ翌年度以降も給付を継続します。

奨学金・採用人数	年間授業料相当額（年額：88万円）20名・年間授業料半額相当額（年額：44万円）30名
選考方法	給付型奨学生選抜（一般選抜または大学入学共通テスト利用型選抜）により選考
備 考	給付型奨学生選抜では、「目標シート」の提出が必要となります。 詳細は「一般選抜・大学入学共通テスト利用型選抜募集要項」を確認してください。

入学手続

1. 入学手続について

入学手続は、次のとおり**2段階方式**となります。

合格の通知を受けた者は、所定の期日までに手続を完了してください。

注 一度納入した入学金は、いかなる事由があっても返還いたしませんので注意してください。
海外送金の場合、本学指定銀行口座への入金に数日要しますので、余裕をもって送金してください。

1 次 手 続	1 試験日程(P9)を参照の上、 <u>1次手続締切日までに、 入学金(P39参照)を本学指定の銀行口座にお振込みください。</u> 2 1次手続締切日までに入学手続書類を郵送してください(締切日消印有効)。
2 次 手 続	<u>試験日程(P9)を参照の上、2次手続締切日までに、 入学金を除く2次手続納付金(P39参照)を本学指定の銀行口座にお振込みください。</u>

注 入学に際し、手続を進められない事情が生じた場合は、まずは学校に相談の上、本学入試センターまでご連絡ください。

2. 入学手続に必要な書類

1 入学手続書類(合格発表時に公開される本学所定の様式)

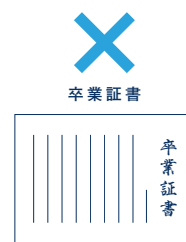
2 住民票 1通(抄本であること。マイナンバーが記載されたものは不可)

※ **1・2** はweb出願システムより「手続書類用宛名ラベル」をダウンロードの上、
使用して郵送してください。やむを得ず窓口を持参して提出する場合は、1次手続締切日
17時までに提出してください。

3 卒業証明書(原本) 1通

※ 高校在学中の者は卒業式終了後、2027年3月17日(水)までに「入学手続の手引」に
掲載されている「卒業証明書(原本)提出用宛名ラベル」を使用して郵送してください。

※ 卒業証明書の発行が期日に間に合わない場合は入試センターまで連絡してください。



3. 入学許可書の発行

入学許可書は、入学手続(1次手続および2次手続)を完了した者に対し、web出願システムの「マイページ」上に発行します。郵送しませんので必要に応じて各自ダウンロード・印刷してください。

4. 初年度納付金【前年度参考】最新の納付金額については本学公式webサイトで確認してください。

区 分			経済学部・共創社会学部・流通情報学部・法学部	スポーツ健康科学部	
入学手続時	項目内訳	入学金※	260,000円	260,000円	
	1次手続納付金 合計		260,000円	260,000円	
	項目内訳	春学期	授業料	440,000円	440,000円
			施設拡充費	105,000円	160,000円
			課外活動振興費	11,000円	11,000円
			実験実習料	5,000円	28,000円
		(代理徴収)諸会費	後援会費※	55,000円	55,000円
			学生会費※	22,000円	22,000円
			学生教育研究災害 傷害保険料※	3,300円	4,660円 (賠償責任保険料を含む)
	2次手続納付金 合計		641,300円	720,660円	
入学後	項目内訳	秋学期	授業料	440,000円	440,000円
			施設拡充費	105,000円	160,000円
			課外活動振興費	11,000円	11,000円
			実験実習料	5,000円	28,000円
	秋学期学費 合計		561,000円	639,000円	
総 合 計			1,462,300円	1,619,660円	

※箇所は初年度のみ

- 注 ①** 秋学期学費 経済学部・共創社会学部・流通情報学部・法学部(561,000円)、スポーツ健康科学部(639,000円)は、9月中旬に別途通知しますので、10月中旬までに納入してください。
- ②** 入学金、授業料などの納付金は非課税です。
- ③** 諸会費は、4力年分一括払いであり、大学が代理徴収しているものです。
- ④** ≪予定≫2年目以降の学費
経済学部・共創社会学部・流通情報学部・法学部は1,122,000円。スポーツ健康科学部は1,278,000円。
(算出方法＝授業料＋施設拡充費＋課外活動振興費＋実験実習料)
学費は、2年目以降スライド制となります。
【前年度の金額にそれぞれ人事院勧告(前年度)による改定率(ベア＋定昇率)を乗じた額を加減算した金額】
- ⑤** 上記の他、4年次に校友会費(同窓会終身会費)10,000円を納入してください。

5. 寄付金

本学では、教育振興資金(任意)として、一口10万円(個人は一口1万円)、一口以上を募集しておりますので、入学後、趣旨等をご覧の上、ご協力をお願いいたします。



流通経済大学 龍ヶ崎キャンパス試験場

〈試験方式〉エントリー型・課題チャレンジ型・課外活動型・学部専願型



所在地

〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市120

☎ 0297-60-1156 (龍ヶ崎入試センター直通)

交通機関

JR常磐線「龍ヶ崎駅(東口)」下車

改札を出て右手階段(東口)を利用、
駅前よりシャトルバスにて約15分



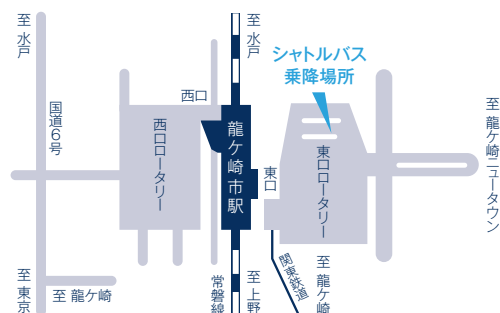
シャトルバス乗降場所

試験当日のシャトルバス運行(龍ヶ崎駅発)

※詳細は、試験日が近くなりましたら
本学入試情報サイトで案内いたします。

本学入試情報サイト

<https://www.rku.ac.jp/with/>



流通経済大学 新松戸キャンパス1号館 試験場

〈試験方式〉得意科目型



所在地

〒270-8555 千葉県松戸市新松戸3-2-1

☎ 0120-297-141

交通機関

JR武蔵野線・常磐線「新松戸駅」より 徒歩約5分

[illegible]

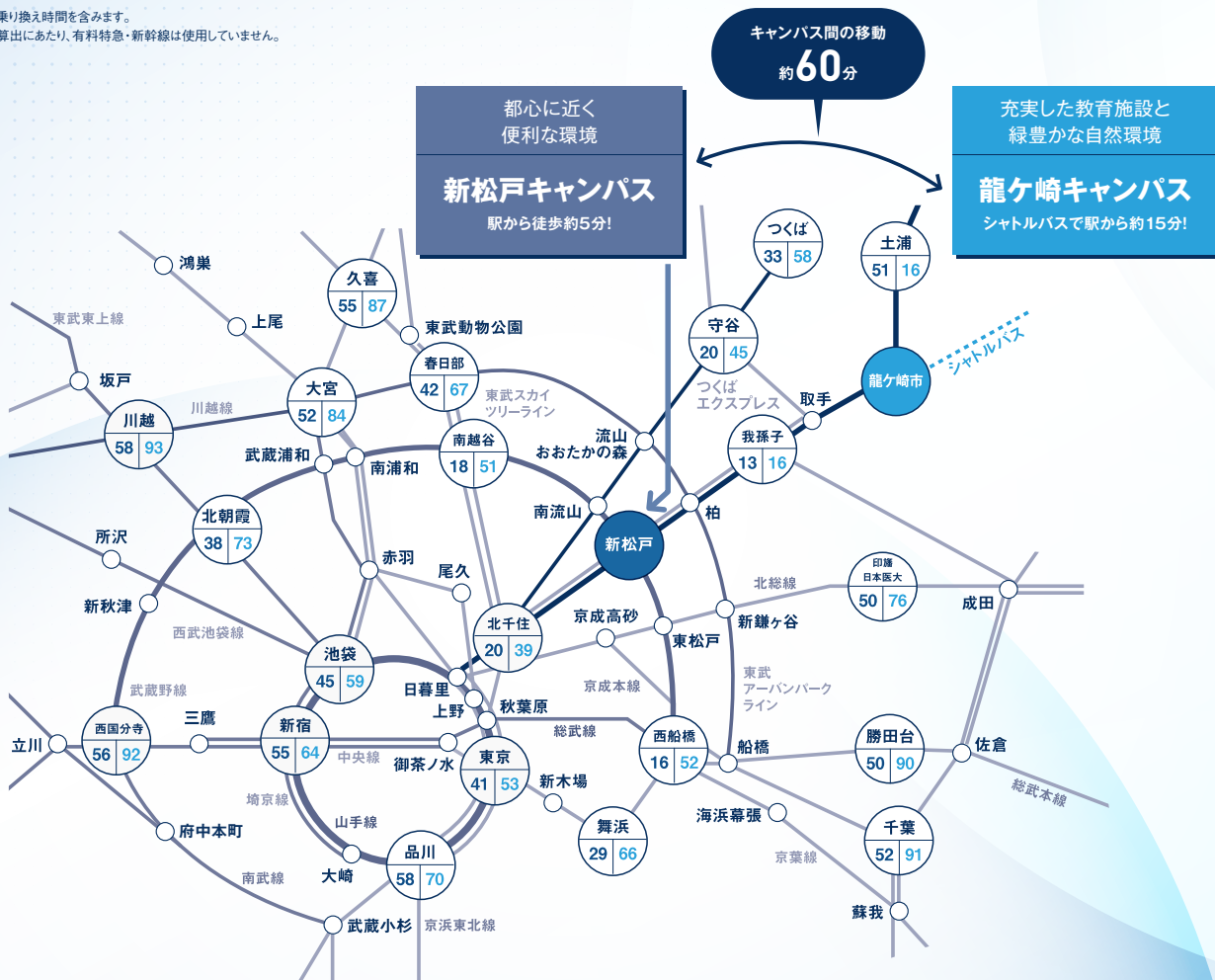
ACCESS

〔マップの見方〕



※所要時間は乗り換え時間を含みます。

※所要時間の算出にあたり、有料特急・新幹線は使用していません。



〒270-8555 千葉県松戸市新松戸3-2-1

JR 武蔵野線・常磐線「新松戸」駅より徒歩約5分



〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市120

JR常磐線「龍ヶ崎市」駅(東口)よりシャトルバスにて約15分

※バスのダイヤは本学公式webサイトで確認してください。

流通経済大学 入試センター

 **0120-297-141**